

# 自然のたより 6月

<0歳から100歳の方まで、みんなが先生です！>



アサギマダラに、  
今年はあるかな？

ふれあいの村へ向かう路線バスの、仁王門から最乗寺（道了尊）までの参道約3キロは、うっそうとした杉並木が続きます。道の両側には約1万株ものあじさいが植えられ、『大雄山あじさい参道』として親しまれています。五月末現在、蕾の状態ですが、その時を待ちかねた花々が出番を待っています。それは、昨シーズン終了後、速やかに片付けられた、翌年用の準備作業とつながっています。



ヤマホタルグワ



材ズアオ(上)、 ヤマグワ(下)

## 今、ふれあいの村では・・・

今年も里山地区の「螢の夕べ」の話題がのぼる季節になりました。村内を見渡すと、ヤマホタルブクロを見つけました。かつて、子供たちが花の中にホタルを入れて遊んだと言われていました。優雅な時代です ◆村の最高地点在住？のオオミズアオに会いに行くのを楽しみにしていますが、今年は管理棟まで来てくれました ◆果実は、遠くへ運んでもらうために、成熟した種を動物に食べてもらわなければなりません。熟さないうちは苦い、酸っぱい、毒性があるなど美味しくないようです。このヤマグワはまだまだか。

☆来月のファミリーコミュニケーションデー：7月2日（日）

10:00～12:00《自然観察会》どこにでも絡み付く植物の知恵  
梅雨時の花や昆虫、セミの初鳴き（無料）

13:00～15:00《クラフト教室》「竹の楽器を作る」(材料費等:250円)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部

子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>



ジャコウアゲハ  
「こんどはいっしょに村であそぼうね」  
『アゲハチョウ』のおはなしは、これでおしまい。

たのみました。  
すぐに、くさむらまではこんでくれたので、だんだんげんきになりました。「こんどはいっしょに村であそぼうね」

「アゲハさんをたすけてください！」と、みんな

ふれあい広場でくらししている金太郎と仲間たちは、今日は「村のそとであそぼう」と、みんなでかけました。  
いりぐちちかくのどのうろに、ちいさい黒いものがみえました。そばにいくと、アゲハチョウがたおれていました。かすかに羽がうごいています。  
「あついで、ばてちゃったのかな？」そこへ、オレンジ色のユニフォームがきた村のしよくいんさんがとおりかかりました。  
「アゲハさんをたすけてください！」と、みんな

## ★フィールドワーク★

## 自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



エゴ ツルクビ オトシブ ミ(↓) と エゴ の木

『目に青葉 山ほととぎす 初鯉』は、江戸時代中期の俳人 山口素堂（1642～1716）作の俳句です。事務所の中からも、目にも鮮やかな「青葉」と特徴のある「ほととぎす」の鳴き声が聞こえます。今頃の樹々のやわらかな緑色は、気分をさわやかにしてくれます。春先の長く続いた余寒の日々から一転し、急に暑い日がきました。今の季節、虫たちはどのようにすごしているのでしょうか？村の中を歩いていると、卵・幼虫や成虫とさまざまな姿をしています。意外に思われるかも知れませんが、実は種類も数も初夏の今頃が一番多いと言われています。これから盛夏に向けて草木が茂ってきますが、まだ草の丈が短いちは、花の蜜を目当てに飛び交う昆虫を見つけやすいようです。虫たちが活発に活動する、午前中の早い時間や夕方などに探してみませんか。実際の気温と体感温度には、差があるようです。帽子と水分補給の準備は忘れなく！



上↑の虫メガネの中の生き物『君の名は？』



オバボタル（昼行性の蛭）



セアカツノカメムシ



→ → → ジャコウアゲハ 卵   → → → → → → ジャコウアゲハ 幼虫   → → → → → ジャコウアゲハとアオスジアゲハ ↓